

## 【第二章】新村式基礎学習の教材

この章では新村式基礎学習教材を実際に現場で活用する方法を把握します。指導の手順やポイントを、各教材別に以下のような構成で分かりやすくまとめました。現場での指導に大いに役立てて下さい。



<第二章の紙面構成>	(1)教材別使用方法	19
	『A』実力テスト	19
	『B』基礎学習練習帳	21
	『C』基礎計算テスト	25
	計算練習帳・P C百マス計算	26
	『D』文章題	27
	『E』漢字練習帳・漢字テスト	30
	『F』かきかたノート	31
	『G』数字練習帳	31
	『H』プリント(いろいろ算・数さがし)	32
	『I』つみき・図形パズル	32
	『J』幼児専門教材	33
	(2)基礎計算テストの級を基にした全教材関連図	35

教材名	一学習頻度	[体数]
教材の概略、使用目的等		
教材一覧	時間	
指導・実施の手順		
他 特記事項 各教材別アドバイス等		

### ( 1 ) 教材別使用方法

『 A 』 実力テスト … 入塾時

[ B5 縦・天糊式・全体用 ]

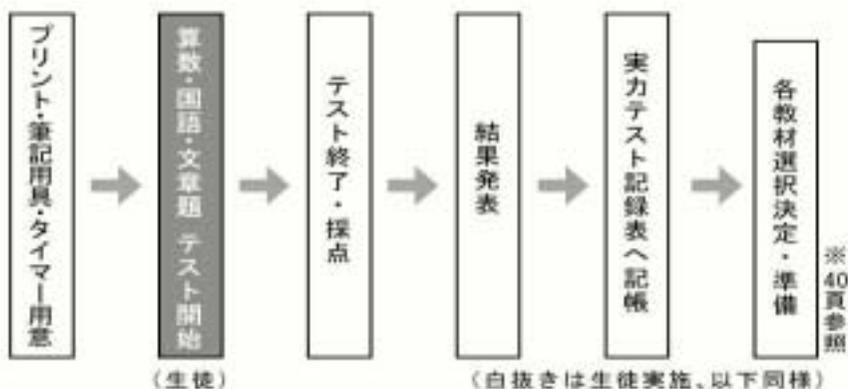
入塾時に一番初めに行う「実力テスト」。算数・国語・文章題の 3 種目を年齢・学年で実施します。入塾時点での一人一人の能力を把握するために行い、無理なく楽しく各自のレベルに合ったところからスタートするために必要不可欠な教材です。

#### 実力テスト一覧 ( 18 種類 )

教材名	幼児用	1 年生用	2 年生用	3 年生用	4 年生以上用	制限時間
実力テスト	算数 計算テスト 18級程度 標準80～90点	計算テスト 17級程度 標準80～90点	計算テスト 16～9級程度 標準65点	計算テスト 16～7級程度 標準65点	計算テスト 9～5級程度 標準65点	5分
	国語 ひらがな	ひらがな	ひらがな カタカナ	ひらがな・カタカナ よみがな・漢字	ひらがな・カタカナ よみがな・漢字	5分
文章題 実力テスト	※テストなし	1 初 (A) (B) 標準 80 点	2 初 (A) (B) 標準 80 点	3 初 (A) (B) 標準 70 点	4 初 (A) (B) 標準 60 点	10分

文章題は A・B どちらか一枚実施。内容は異なりますがレベルは同等。

#### 実施の手順



#### 文章題 ( 10 分 )

テスト結果を 文章題の級位表。27 頁参照 と照合して開始文章題を決定します。

## 算数（5分）

基礎学習練習帳と基礎計算テストの開始基準になります。

2年生 算数 100問 制限時間(5分)

実力テスト				点
1. たしざん	2. ひきざん	3. たしざん	4. ひきざん	
2+1=	5-2=	4+6=	9-3=	
1+1=	4-2=	2+7=	9-5=	
2+2=	5-1=	3+8=	9-7=	
1+8=	3-2=	3+5=	9-4=	11級
2+3=	4-1=	5+5=	11-2=	
5+1=	4-4=	5+7=	11-5=	
1+2=	5-3=	5+6=	11-8=	
3+1=	5-0=	5+8=	11-4=	
5+2=	6-3=	5+9=	11-7=	15級
3+3=	6-1=	9+4=	12-5=	
4+1=	6-2=	9+3=	12-3=	
1+6=	7-2=	9+2=	12-6=	
8+1=	7-4=	8+4=	12-4=	
3+4=	7-6=	7+4=	13-4=	10級
7+3=	7-5=	7+7=	13-7=	
4+4=	8-1=	7+5=	13-8=	
4+2=	8-5=	6+5=	13-2=	
5+3=	8-7=	6+6=	14-10=	
6+4=	8-6=	6+7=	14-12=	
4+5=	10-2=	8+8=	14-9=	12級
2+6=	10-1=	8+6=	14-6=	
8+2=	10-3=	9+7=	15-5=	
6+3=	10-9=	7+8=	15-2=	
3+7=	10-4=	9+9=	15-9=	9級
1+0=	10-6=	6+9=	15-8=	

1学期の標準成績 (2学期標準より10問減)

基礎計算テストの目安級

2学期の標準成績 (太線)

3学期の標準成績 (2学期標準より10問増)

基礎学習練習帳の開始基準

◎学習開始 9～15級→入門 14級以上→A

## 国語（5分）

練習帳は算数中心なので国語の成績は直接関係しませんが、その子の国語力をみる目安になります。漢字・かきかた教材を選ぶ参考にして下さい。

実力テストの結果による開始練習帳

		幼1	入1	A1	B1	C1
年中～年長		●				
年長～1年			●			
2年	20～15級		●			
	14～10級			●		
3年	9級以上				●	
4年 以上	7級以下				●	
	6級以上					●

**『B』基礎学習練習帳** … 毎回5頁程度 [ B5及びA4縦・生徒個人用 ]

当教材の中で一番主な「基礎学習練習帳」。真の基礎学力（読み・書き・計算）を身に付け、自学自習を育成し、学力を確実に向上させることを目的としています。「実力テスト」の結果により決定した練習帳からスタート。完全に理解するまで2～3冊反復してから、次の段階へと進ませます。

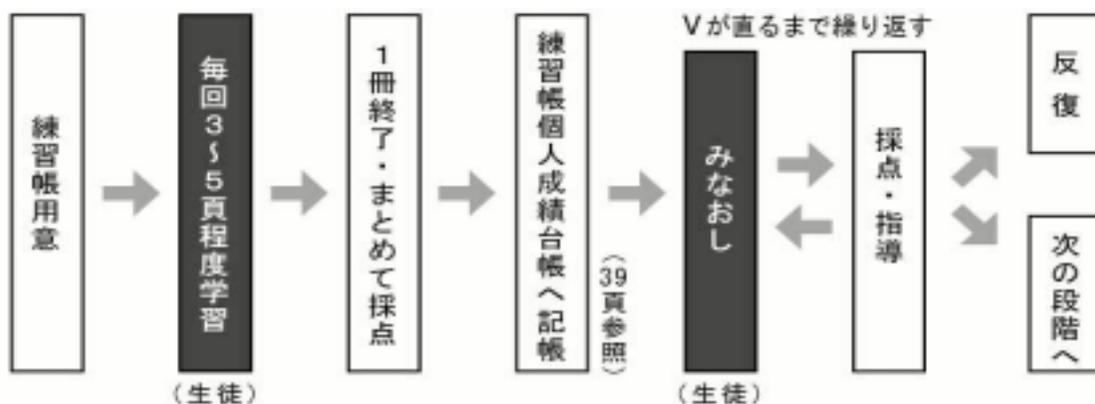
**基礎学習練習帳一覧（98種類）**

年中程度	年長程度	1年生程度	2年生程度	3年生程度	4年生程度
幼児シリーズ	入門シリーズ	Aシリーズ 特集	Bシリーズ 特集	Cシリーズ 特集	Dシリーズ 特集
幼児-1	入門-1	A-1	B-1	C-1	D-1
幼児-2	入門-2	A-2	B-2	C-2	D-2
幼児-3	入門-3	A-3	B-3	C-3	D-3
幼児-4	入門-4	A-4	B-4	C-4	D-4
幼児-5	入門-5	A-5 (文)	B-5 (文)	C-5	D-5
幼児-6	入門-6	A-6	B-6	C-6	D-6
幼児-7	入門-7	A-7 (文)	B-7 (文)	C-7 (文)	D-7
幼児-8	入門-8	A-8	B-8	C-8	D-8
幼児-9	入門-9	A-9 (文)	B-9 (文)	C-9 (文)	D-9
幼児-10	入門-10	A-10	B-10	C-10	D-10 (文)
幼児-11	入門-11	A-11 (文)	B-11 (文)	C-11 (文)	D-11
幼児-12	入門-12	A-12 (千)	B-12	C-12	D-12 (小)
		A-13 2位数	B-13 (十)	C-13 (文)	D-13
		A-14 2位数	B-14 (×)	C-14	D-14 (分)
			B-15	C-15 (分)	D-15
			B-16	C-16 (小)	D-16 角
			B-17	C-17 筆算 (×÷)	D-17 四角形
			B-18	C-18	D-18 面積
				C-19	D-19 立体
				C-20	D-20 (文)
					D-21 表
					D-22 グラフ

(文)…文章題特集	(×)…(×)の補習
(千)…順序数(1～1000迄)	(分)…分数特集
(十)…(十)(一)の補習	(小)…小数特集

## 指導の手順



## 練習帳の使用方法

### 表紙記入例

生徒に練習帳を渡す前に、下記内容と名前を記入します。

練習帳の累計冊数	(18)	さつめ	(13)	級	なまえ										
	<table border="0"> <tr> <td rowspan="2" style="text-align: center; vertical-align: middle;"><b>評価</b></td> <td colspan="2">1. たいへんよくできました。</td> <td colspan="2">3. ちょっとらんぼうでした。</td> <td rowspan="2" style="width: 100px;"></td> </tr> <tr> <td colspan="2">2. きれいにできました。</td> <td colspan="2">4. まちがいがおこった。</td> </tr> </table>						<b>評価</b>	1. たいへんよくできました。		3. ちょっとらんぼうでした。			2. きれいにできました。		4. まちがいがおこった。
<b>評価</b>	1. たいへんよくできました。		3. ちょっとらんぼうでした。												
	2. きれいにできました。		4. まちがいがおこった。												
	A-1	A-2	A-3	A-4	× △ の数	みなおし 残 採点者									
	1	2	0												

1冊毎の反復回数 ※1冊目は0と記入

これまで学習した2~3段階の冊数

### 学習方法

最初に一日の学習予定の(4~5頁)最後の頁右下に、日付印やシール、絵のスタンプ等を付けてから、学習を始めさせます。

教室では5頁、残りは宿題でやらせます。平均して一週間に2冊程度、一ヶ月で8冊を目標に学習させましょう。

このペースで進めている子はぐんぐん伸びていきます。

### 練習帳の進度調整

生徒の能力は同じ学年でも千差万別で、その伸びるスピードも異なります。そこで、練習帳の進度を個人別に調整し、生徒が無理なく楽しく学習していけるよう配慮する必要があります。生徒が無理なく余裕をもって学習しているか、あるいは苦勞しているかを判断する目安として以下の4項目が挙げられます。

#### 進度調整判断目安

基礎計算テストの成績・・・基礎計算テストで大体の能力が把握できます。(練習帳をでたらめに解答していながら、「簡単、簡単」と言う生徒がいますので注意しましょう！)

基礎計算テストは毎週1回実施し、その成績によって今学習している練習帳が適切かどうかをチェックして下さい。

1頁当たりの学習時間・・・1頁当たりの学習時間は5分程度が適切で、これ以上かかる生徒はその練習帳が難しいと判断することが出来ます。

1冊中での誤答の数・・・1冊の練習帳の中で、V(誤答)が10個(Cは20個・Dは40個)以上ある場合は、前段階の学習が不足していると言えます。

1冊中での質問の回数・・・練習帳は先生に質問しなくても自学自習できるように、分かりやすい説明や導入が随所にあります。質問が多い場合は同様、前段階の学習が不足していると言えます。

基礎計算テストの進級が順調な場合、反復は2冊、順調でない場合は3~4冊繰り返して学習させます。

高学年(4~5年生)でも、実力テストで標準(7級)以下の場合は、練習帳B1(1冊又は2冊の反復)から始めます。2~3年生で習う加減乗除や文章題は、この先の学習の基礎となる大切な内容です。

数か月も進級できない状態が続く場合は、練習帳をそのシリーズの始め(A1・B1等)に戻す必要があります。しかし、一旦進んでから戻すことは、保護者・生徒共に抵抗がありますので、日頃から十分な量の反復学習を心がけて下さい。

伸び悩みが一部の領域だけの場合は、基礎計算テストや練習帳の該当頁で弱点部分を重点的に補習します。

## 練習帳別特集内容の使い方 (A ~ C)

特集内容	練習帳	使用方法
順序数 (1~1000迄)	A 12	内容が過密(順序数・1~1000迄)なため、1日に1~2頁・繰り返しは2冊とします。集中力と根気を養う大切な学習ですので、B1から始まった生徒にも是非やらせて下さい。
2位数の 合成分解	A 13・A 14 B 12 C 8	二桁のたしひき(くり上がり・くり下がり)の特集です。この部分でつまづいた場合は、B12→A13 C8→B12 へと戻り、2~3冊反復学習させます。
文章題特集	A 5・7・9・11 B 5・7・9・11 C 7・9・11・13	幼児や文章題に苦勞している生徒は、ここを抜かして進み、後からもどって学習する方法もあります。
分数特集	C 15	3・4年生対象。学校で分数・小数を習う時期になったら、通常学習している練習帳とは別に、分数・小数特集号を持たせて学習させます。
小数特集	C 16	

※その他の特集内容は、「基礎学習練習帳一覧表」(21頁)を参照して下さい。

## 文章題の“隠し答え”

文章題には“隠し答え”がありますので活用しましょう。(各頁欄外下のNo.が“隠し答え”)

◇通常は一の位で正否を判断

◇解答欄の右下に・がある場合  
十の位で正否を判断

①	15こ
②	3まい
③	24ほん
④	9ほん
⑤	11ばん

No.4-2380

※答えの一の位、  
5 3 4 9 1 から  
1 1 1 1 1 を引いた数  
4 2 3 8 0 が隠し答え。

正解 53491  
-11111  
隠し答え 42380

①	360本
②	41人
③	124枚
④	570こ
⑤	9才

No.5-0368

※①は360の十の位の6、  
④は570の十の位の7、  
6 1 4 7 9 から  
1 1 1 1 1 を引いて  
5 0 3 6 8 となる。

正解 61479  
-11111  
隠し答え 60368

## 『C』基礎計算テスト …… 毎回1セット程度 [ B5縦・天糊式・全体用 ]

練習帳と並ぶメイン教材。「正確で、きれいに、速く」の計算力を身に付け、集中力とスピードを養います。実力テストの級により基礎計算テストを実施し、正式な級を決定してスタート。進級方式で確実に実力をつけていきます。このテストの進級状況を目安に、練習帳との進度調整を行います。

## 基礎計算テスト一覧 (20種類)

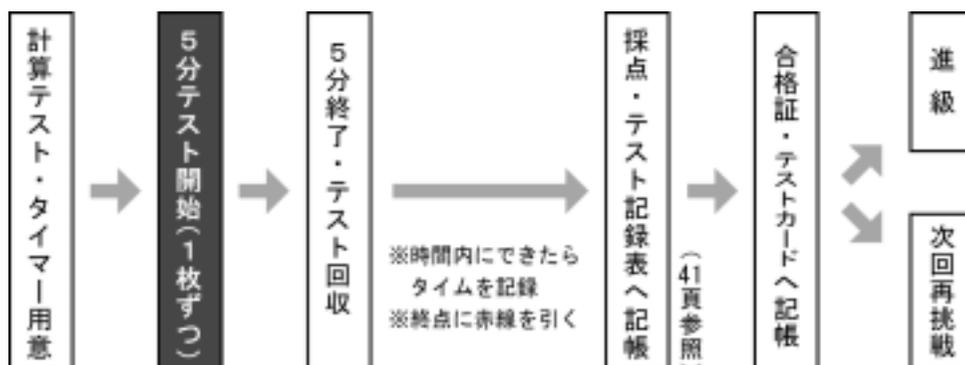
	級	内容	合格点	制限時間
4年	4～3級	⊕ ⊖ ⊗ ÷	360点	5分×4枚
3年	7～4級	⊕ ⊖ ⊗ ÷	390点	5分×4枚
2年	10～8級	⊕ ⊖ ⊗ 数	390点	5分×4枚
1年	15～11級	⊕ ⊖ 数	290点	5分×3枚
年長	20～16級	⊕A ⊕B	190点	5分×2枚

※ 数(数)は数さがし

※3・3"・4級はたてがき(ひっさん)問題のため360点合格

※制限時間は5分ですが、学習頻度によって4分または3分で設定

## 指導の手順



### 順調に進級させるポイント

問題は分かって、スピードが遅ければ合格はしません。数をこなし、鍛錬させる必要があります。塾での学習以外にも、宿題でやらせてみてください。

他は全て合格ラインなのに、ひきさんだけが引っかかっている等、1つの種目だけが弱い場合、該当級又は1つ下の級でその種目のみ（数さがしプリント等）を重点的に練習します。

### 計算力（スピード）を上げるための学習

計算練習帳（犬・猫）

「基礎計算テスト」の生徒個人用として平成15年6月に創刊された「計算練習帳」ですが、現在は皆様からのお声やアドバイスを頂きながら、より良い、使いやすい教材を目指して改良中です。「計算強化のための練習帳」として、または「宿題用」としてお使いください。

#### 【計算練習帳（犬・猫）一覧】

級	計算プリント面	計算テスト面		制限時間
	主な内容	内容	合格点	
5・4・3級	ひっさん・応用	⊕ ⊖ ⊗ ÷	360点	各3分ずつ
8・7・6級	わり算・暗算	⊕ ⊖ ⊗ ÷	⑧260点・⑦330点・⑥390点	
11・10・9級	かけ算	⊕ ⊖ ⊗ 数	⑪260点・⑩330点・⑨390点	
14・13・12級	たし算・ひき算	⊕ ⊖ 数	⑭260点・⑬330点・⑫390点	
17・16・15級	数概念・なぞり	かA  かB	⑰260点・⑯330点・⑱390点	

1冊の構成は片面が＜計算テスト：犬＞、もう片面が＜計算プリント：猫＞となっております。＜計算テスト：犬＞に百マス計算を取り入れ、＜計算プリント＞には通常の式計算に加え、お金計算・図表を使った計算など、さまざまな内容が理解を助け、応用力を身に付けさせます。

PC百マス計算（現在研究中）

『D』文章題 … 1回1枚程度 [ B5縦・天糊式・生徒個人用 ]

計算は強いが、文章題はダメ。今の子供は、文章に触れる機会が少ないため、自然と読解力が弱くなりました。そこで登場するのが文章題。読解力と分析力（文章の要旨を的確につかんで分析し解答する力）を養います。実力テストの結果により決定した級よりスタート。進級方式で無理なく始められます。学習をスムーズに行うには、難しすぎず易しすぎず（70～80点程度）の教材を与えるようにしましょう。

文章題の級位表（目安）

内容	幼児・1年生程度		1年生程度			2年生程度			3年生程度			4年生程度		
	15	14	13	12	11	10	9	8	7"	7	6"・6	5"	5	4"・4
2初	20～	40～	60～	80～	90～									
3初				30～	50～	60～	70～	80～	90～	95～	100			
4初				0～5	10～	20～	30～	40～	50～	60～	70～	80～	90～	100

※低得点（60点未満）の場合は、学年を下げて再テストをします。

文章題一覧（16種類）

レベル	級	主な内容	時間
4年生以上程度	5"・5・4"・4級	＋・－・×・÷・概数・小数・分数・単位・図形・漢数字	7分
3年生程度	7"・7・6"・6級	いろいろ算・特殊問題等 86～106項目	
2年生程度	10・9・8級	＋・－・×・÷導入・お金等 27～32項目	5分
1年生程度	13・12・11級	＋・－・×導入・とび数・順序数等 28項目	
幼児・1年生程度	15・14級	計算力がなくてもかぞえるのみで解ける内容	

※文章題に入るための導入教材があります。（読み方絵本・読み方練習帳 34頁参照）

指導の手順



< 文章題成績記録表 >

	名前	級		回	1	2	3	4	5	6	7		23	24	̄1	̄2	̄3	̄4	
		級	級																
(A)	山田 幸一	8	8	1回目	90	95	100	95	100	100									
(B)	佐藤 知美	8	8	1回目	80	85	75	85	90	85	80		85	90	80	90	85	95	
(C)	田中 信二	8	8	2回目 1回目	75	85	80	85	100	90	75		95	65	80	80	70	75	65
(D)	鈴木 洋子	9	8	1回目 1回目	75	85	90	80	85	75	80		85	90	85	75	95	100	

※こちらの記録用紙は販売しておりません。

易しすぎる例・・・毎回 90～100 点が続く場合、途中でも巻末のテストをやらせ  
ます。テストの平均点が 80 点以上なので進級。( A )

順調例・・・生徒・指導者共に楽しくスムーズに学習できている状態。( B )

難しすぎる例・・・テストの平均点が 75 点未満の為、再学習になります。( C )

難しすぎる例・・・60 点以下が続く場合は、1 つ級を戻してやり直します。( D )

進級テスト

全ての回が終わったら、巻末にある進級テスト(4 枚)を行います。

上の例を見ても分かるように、テスト 4 枚の平均点が 80 点以上なら進級、75 点以上なら再テスト、75 点に達しない場合は同問題集を再度やり直します。再学習の場合は点数の悪かった回のみ行います。

再学習用のプリントは事前にコピーしておいてお使い下さい。

指導とタイム計測

分からないところがあっても最初はなるべく自力でやらせないで、本当の実力が分かりません。質問の解答はワンポイントにとどめ、答えを自分で出せるようにもっていきます。どうしても理解できないところは指導します。

また、タイムなしで学習するとただらとし、緊張感・集中力に欠け学習効果が上がりません。15～8 級までは 5 分、準 7 級以上は 7 分でタイム計測をして下さい。

級別学習内容

級と学年のレベル表示（表紙）

表紙内の（B-1）等は、どの学年程度のものかを示しています。

幼児～1年生	1年生	2年生	3年生	4年生以上
0-1 }	A-1 }	B-1 }	C-1 }	D-1 }
0-2	A-3	B-3	C-4	D-4

A B C Dは学年、数字は段階（例：B - 1は2年生の最初）を示しています。

級別学習内容

15～14級・・・14級まではかぞえるだけで解ける内容です。（13級以上は計算力・分析力が必要。）文章題に入る前は「読み方練習帳」（導入教材 34頁参照）を使って学習します。

13～8級・・・長文が1/6を占めています。また長文には随所に隠し答えがありますので、活用しましょう。（24頁参照）

準7級以上・・・準7級からは、いろいろ算（あまりの処理・工夫して計算・を使った式等）や、特殊問題（鶴亀算・植木算等）が加わり、より変化に富んだ充実した内容になっています。図をかいたりメモをとったりできるように、ノートを持たせると良いでしょう。

採点のしかた

次の場合は1問につき5～10点減点（減点数は問題の配当点により決定）

- 数詞（...本、...円）のまちがい                      正答であっても式がまちがっている
- かけ算の式が逆    2問セットの問題で1問まちがっている
- 答えだけで式を書いていない

かけ算等式による採点例

<問題> 1れつと2れつには8にんずつと、3れつ目には7人ならんでいます。ぜんぶで何人ですか？

(A)  $\underline{8 \times 2 = 16}$        $\underline{16 + 7 = 23}$

(B)  $\triangle \underline{2 \times 8 = 16}$        $\circ \underline{16 + 7 = 23}$

(C)  $\underline{8 + 3 = 11}$        $\underline{11 + 7 = 18}$

○	23	人
△	23	人
✓	18	人

正解例・・・式・答え共に正解（A）                      不正解例・・・式・答え共に不正解（C）  
 半正解例・・・答えが正解でも、 $8 \times 2$ と $2 \times 8$ では意味が違うので（B）

## 『 E 』 漢字練習帳・漢字テスト

… 1回、1頁程度 [ B5縦・生徒個人用 ]

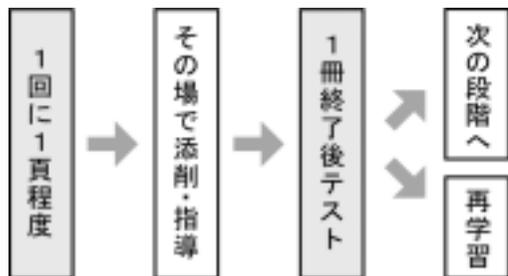
漢字の基礎をかためて応用へと発展させていく漢字練習帳。漢字の正しい書き順・読み方だけでなく、意味を持った表意文字であることや助詞の正しい使い方なども同時に学習します。入塾テスト（国語）の結果を参考に、漢字テスト（下記参照）を実施し、開始漢字練習帳を決定してスタート。一冊終わるごとに漢字テストを行い、合格したら次の段階に進みます。

### 漢字練習帳・漢字テスト一覧（各12種類）

	1年生程度	2年生程度	3年生程度
漢字練習帳	A1・A2・A3	B1・B2・B3・B4	C1・C2・C3・C4・C5
漢字テスト	A1・A2・A3	B1・B2・B3・B4	C1・C2・C3・C4・C5
漢字下敷き		B・2年生用（九九付）	C・3年生用（単位付）

※実力テストの国語と、1学年下げた漢字テストの後半2枚で実力をはかり、開始練習帳を決定  
 ※1年生は夏休み又は2学期頃から使用

### 指導の手順



文字が粗雑な場合は、書き直しをさせる。  
 漢字テストは80点以上を合格とする。  
 テストの成績が思わしくない場合は、間違った漢字を数回かかせて練習をさせる。

### 漢字練習帳の特徴

- 流麗な書体と豊富な挿絵を使用。（Cシリーズは教科書体）
- 漢字ゲームやパズルが入っている。（A・Bシリーズはストーリー展開）
- 書き順と画数を分かりやすく説明。（数字で書き順を入れてある。赤い所は一画で書く。）
- 助詞・送りがな等を自分で書く。（漢字だけを書くのではなく、きちんと読んでいかないと出来ないようにしてある。）
- 漢字下敷きを辞典として用いる。（いちいち分からない所を質問しなくても自分でできる。辞典をひく練習となる。） 2年生用・3年生用の2種類

『 F 』 かきかたノート

… 1回1頁程度

[ B5 縦・生徒個人用 ]

かきかたが上達すると計算力が向上し、計算力の向上はかきかたの上達を促すという相乗効果があります。1頁(枚)を7分程度で丁寧に仕上げましょう。

かきかた教材一覧(4種類)

ひらがなノート・カタカナノート  
 かきかた(ひらがな・カタカナプリント、天糊<sup>のり</sup>式)  
 全体用として袋入りもあり(かきかた大会に便利)

1年生～3年生位まで

幼児はなぞり専門の「幼児のかきかたノート」があります。(33頁参照)

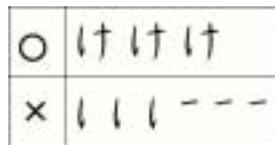
かきかた鉛筆(2B)とソフト下敷きを使用します。

正しい姿勢で、丁寧に書く習慣づけをします。また、正しい鉛筆の持ち方をしているかきちんとチェックをします。

なぞるところは、指定の回数をなぞらせます。

漢字同様、書き終えたらその場で添削・指導をします。

学期末には「かきかた大会」を実施して展示。入賞者には表彰とご褒美をあげましょう。



字形分類による指導法

右記のような字形・直線文字による指導で、ひらがなの特徴を意識しながら上達していきます。

カタカナは、とめる・そらす・はねる等の細かい指導により、その特徴をつかみます。

●	■	▮	▬	▲	▼	▲			
の	お	れ	う	ひ	い	へ	あ	さ	ち
そ	は	む	き	ま	か	め	え	す	ら
	ほ	け	く	も	つ	ゆ	ふ	せ	る
	に	ね	こ	よ	ぬ	わ	み	て	ろ
	た	し	り	へ	ん	な			
		と	を	ぬ		や			

『 G 』 数字練習帳

… 1回1ブロック

[ A4 縦・生徒個人用 ]

どんなに計算スピードがついても、数字が汚くても元も子もありません。数字の書き順からはじめ、きれいに速くかけるように練習します。

幼児から上級、A・B・Cの3冊で構成

書き終えたらその場で添削・指導します。

『 H 』 各種プリント …… 1回1枚程度 [ B5 縦・袋入・一斉用 ]

数さがし

補習プリントとして、ひきざんの強化用に使用します。制限時間5分  
天糊式、4種類・・・(A)1年生用 (B)2年生用 (C)3年生用 (D)4年生用

いろいろ算

こちらも補習プリントとして応用力の強化に使用します。タイムを計測して何問できたか記録をとり、学習意欲と自信をつけます。  
袋入り、8種類 (A1・2・3・4 B1・2・3・4) 3年生・4年生用

『 I 』 積木・パズル ……月に4回程度 [ A4 縦・生徒個人用 ]

幼児から大人まで楽しむことができる積木とパズル。ノートの上に積木・パズルをのせて学習します。指先を使って、創造力・思考力・集中力を身に付けます。積木は立体図形感覚の育成、パズルは平面図形感覚の育成に役立ちます。簡単なものからスタートし、一冊終わったら次の段階へ進みましょう。

積木ノート(3種類)・パズルノート(5種類)一覧表

	幼児 ~ 小学生 ~ 一般	制限時間
1.2.3つみきノート	入門・初級・中上級	10分
図形パズルノート	A・B・C・D・E	10分

本体(1・2・3積木...全4色 図形パズル...全7色)

つみきノート・図形パズルノートの使い方

- 1回の学習時間はおよそ10分間。できる所までやらせます。
- 1頁終わる度に「おわりました」と言わせ、シールを貼ってあげます。
- 1頁は日を変えて計3回ずつ学習するようになっています。

シールの貼り方例

(シール欄)

入門-1		入門-4		● ……1回目(10/14に学習) ○ ……2回目(10/18に学習) ● ……3回目(10/21に学習)
入門-2		入門-5		
入門-3				

『 J 』 幼児専門教材 … 各教材学習カードよりバランスよく組んで学習

幼児専門教材として、以下の5つの教材があります。

教室の備品として、糊・ハサミ・紙クズ入れ・色鉛筆(クーピー)等を用意しておきましょう。

ようじのかきかたノート [B5 縦・生徒個人用]

なぞり専門の「かきかたノート」。筆圧の弱い幼児には、なぞることも一苦労ですが、ゆっくり丁寧にやらせて下さい。なぞっているうちに字の特徴を覚え、書くことに慣れていきます。

1回1頁・全15回分

かきかた鉛筆(3Bまたは4B)とソフト下敷きを用意してからはじめます。

筆圧の弱い子にはサインペン等でなぞらせませす。

文字が震えてしまう子、うまくかけない子には、指導者が手を添えて一緒にかきます。

絵と文字(あさがお・いぬ・うさぎ等)が書いてあるので、読んでからなぞらせるようにしましょう。

きりえノート [A4 縦・生徒個人用]

はさみやのりの使い方を学習します。紙を持つ場所・紙を切る順番・のりをつける場所が各頁に書いてあるので、最初はうまく使えなくても回を重ねるごとにだんだんと上達していきます。集中力を高め、手先を器用にします。

1回1頁・全15回分

のり・はさみ・クズ紙入れ・ティッシュを用意してからはじめます。

道具の用意・片付けは幼児にやらせましょう。

ぬりえ [B5・袋入り・全体用]

ぬりえの学習は、集中力を養い、指先を器用にします。また、情操面でもその効用が評価されています。自由に好きなようにぬらせ、色をぬる楽しさを教えてあげましょう。

全24種類、プリント形式

学期末には、幼児から小学生まで全員で「ぬりえ大会」を実施するのも良いでしょう。

大会後はぬりえを展示し、入賞者には表彰とご褒美をあげます。

基礎学習練習帳の表紙(A～Cシリーズ)をぬりえとしても活用できます。

小学生は学習プラン内に含めていません。時間外学習としてお使い下さい。

## よみかたえほん

## 読み方練習帳

[A4 縦・生徒個人用]

文字を読むことから始まり、文章を理解するまでを学習します。

文字・単語が読めてもそれが文章になると読めない、読めても頭に入らないということにならないように、少しずつ段階を進めていきます。学習は以下のような流れで行います。

### よみかたえほん



1回 15頁・10回繰り返し × 全3冊 (A・B・C)

文字 (1文字 あ・い・う) を読める



単語 (ことば はな・りんご・おはじき・やまのぼり) を読める

Aは2文字、Bは3文字、Cは4・5文字の単語が中心



Bからは濁音・半濁音・促音・拗音 (きゅうり・こいのぼり) が  
できます。

**文字・単語が完全に分かるようになったら次の段階へ**

### 読み方練習帳



1回 1頁 × 全1冊

文章が読める、文章が頭に入る



濁音・半濁音・拗音・促音等が入った文章が読める

文章の意味が分かる、答え方が分かる



数を数えることができる

形容・比較が出来る

(例) 多い 少ない 大きい 小さい 高い 低い

太い 細い 長い 短い 速い 遅い



厚い 薄い 重い 軽い



内容が分かる

(例) 形態・動作・異種同音・色彩・左右・前後・仲間集め

同数・数の増減移動 (増えた・減った) 数の概念

**同じ文章を何度も呼んですらすら出来るようになったら次の段階へ**

### 文章題 15級・14級

## (2) 基礎計算テストの級を基にした全教材関連図

レベル	幼児年中	幼児年長	1年生程度	2年生程度	3年生程度	4年生以上
基礎計算テスト合格級	20 19 18 17 16	15 14 13 12 11	10 9 8	7 6 5 4*	4 3* 3	
基礎学習練習帳	幼児1~12	入門1~12	A1~14	B1~18	C1~20	D1~22
文章題		15・14級	13~11級	10~8級	7*~6級	5*~4級
漢字練習帳・漢字テスト			A1~3	B1~4	C1~5	
実力テスト		幼 児	1 年 生	2 年 生	3 年 生	4 年 生 以 上
かきかたノート		なぞり	ひらがな・カタカナ			
基礎計算テスト合格級	20 19 18 17 16	15 14 13 12 11	10 9 8	7 6 5 4*	4 3* 3	
数字練習帳						
いろいろ算					A1~4・B1~4	
数さがし			A	B	C	D
ぬりえ		A~C				
つみき・図形パズル		入門~中上級(つみき)・A~E(パズル)				
きりえ						
よみかたえほん		A~C				
読み方練習帳						
基礎計算テスト合格級	20 19 18 17 16	15 14 13 12 11	10 9 8	7 6 5 4*	4 3* 3	
レベル	幼児年中	幼児年長	1年生程度	2年生程度	3年生程度	4年生以上